

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	熱中症対策緊急推進事業		担当部局庁	環境保健部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	環境安全課		早水 輝好		
会計区分	一般会計		施策名	9-3環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	該当無し		関係する計 画、通知等	該当無し				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	熱中症については、猛暑の影響で平成22年には救急搬送者数や死亡者数が急激に増加しており、個人の熱中症対策についての意識をより一層高めるとともに、地域の特性に応じた熱中症対策を進めることにより、日本全体として、熱中症による被害を減少させる。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	熱中症による死亡者の約8割を占める高齢者に対する対策を中心として、個々の熱中症対策についての意識啓発を進めるため、自治体の担当職員や民生委員を対象に、熱中症に関する基礎知識や対策等についての講習会を実施し、各地域で対策を進めるに当たり指導者として中心的に対応できる者を養成するとともに、自治体職員等が高齢者宅に戸別訪問した際等に、熱中症の意識啓発に用いる有効なツールの配布を行う。 また、市町村が、地域の特性に応じた対策を進める際に、モデル事業として支援を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	0	500	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	500	
	執行額		0	0	0			
執行率 (%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	熱中症による被害者の減少が目標であるが、年度ごとの夏期の気温の変動による影響が大きく、目標値を設定することが困難		成果実績					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	(円/)			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・講習会の開催回数 ・WBGTの計測器の配布数 ・モデル事業の指定市町村数		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	公害調査費	0	300					
	公害調査等 地方公共団体委託費	0	200					
計	0	500						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>平成22年度に過去最高の1700人余りが熱中症により亡くなっているほか、今年度も4.6万人以上が救急搬送されている状況等を踏まえ、効率的な執行に努めることに留意しつつ、真に国で行うべき事業に限って、平成24年度概算要求での要求(要望)を行うことは適当である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			